



祝 創立70周年 大切な節目の年度がスタートしました。

校長 釦持 利行

暖かい春の陽射しのもと、爛漫の花に彩られて、いよいよ新年度が始まりました。99名の新入生を迎え、平成31年度は、全校生徒数286名でのスタートとなりました。新入生の保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。2・3年生の保護者の皆様、今年度もどうぞよろしく願いいたします。

始業式・入学式では、今年度、高松中学校が創立70周年を迎えることから、これまでの高松中のあゆみを静かに振り返るとともに、地域に支えられ、ともに築き上げてきたよき伝統をさらに磨きをかける一年。そして、新たな一步を踏み出す年にしたいと話させてもらいました。



高松中のことをもっと知ろう PART①

— 高松中の校旗って —

高松中学校は、戦後間もない昭和24年4月、新制中学校として、港区立白金小学校の校地に開校し、同年5月に現在の場所に移転し、新しい校舎での学校生活が始まりました。現在の校舎がある場所は、高松宮邸の敷地の一部を譲り受けた由緒あるところです。さらに、同年11月2日、高松宮殿下御考案の校旗を御下賜いただき、以来その日を開校記念日としています。

高松宮殿下にデザインされた校旗は、始めは都内某大手デパートに制作を依頼されましたが、途中で京都の有名な龍村織物社(大正時代に正倉院御物の復元を請け負った会社)に注文代えをしました。この会社のエキスパートたち12人が2ヶ月も費やして完成させたそうです。



〔校旗について〕

- ▶ 地色の深緑色は松の常緑にちなんだもの
 - ▶ 松の刺繍の校章以外に文字がないのは、将来学制などの変更があっても不変に使用できるように。
 - ▶ 旗における松の位置は黄金分割の比になっている。
生地がウールで織られていて旗としては非常に珍しい。
 - ▶ 旗につけられた鳩目は、天皇旗のものを擬している。
 - ▶ 旗竿の金具はすべて正倉院御物を擬している。
 - ▶ 房は全部手製で、高度な技術と多くの日数を費やした。
- ※同窓会記念誌『宮様と高松中学校の生い立ち』より